

報告事項1. 平成29年度飛騨市公共交通会議での意見と対応について(抜粋)

問題点	これまでの公共交通会議内で出た意見	今後の対応方針
ふるかわ循環乗合タクシーのデマンド化	<p><H29第1回公共交通会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーみたいなもの。営業妨害にならないか。 →区域を限定すれば影響は少ない。 ・費用の負担が変わらず、利便が高まる方向を考えるべき。 ・病院用送迎バス、地元スーパー用送迎バス、そういった実験をやってみるなどの検討もしている。 <p><H29第2回公共交通会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気を運んでいるだけ。 ・アンケートをしていないという結論が出れば使わない。 ・何のために走らせているかを吟味しなければならない。 ・横型のエレベーターはどうか。 	平成30年10月実施へ向け検討
免許返納制度はどうか。	・シニア層が今のままでは免許を離せない。	飛騨市はシルバーフリー定期券で対応中
河合・宮川は別れているが、同額とするのはどうか。	・宮川大無雁の人は、遠方の宮川診療所へ行くと200円、近い河合診療所へ行くと300円かかる。	JRの運賃に合わせるため、町内200円、町を跨ぐと300円としている。河合と宮川についても同様。
神岡町のターミナル	<p><H29第1回公共交通会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカイドーム、振興事務所を庁内で検討 →全国の道の駅でターミナルとして使われている例もある。 濃飛の営業所があることも踏まえ、今後考えることが必要 <p><H29第2回公共交通会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番の目的、姿がみえない。イメージを示してほしい。 ・何か集まってくることを活かした何かができることを一緒にできるようなもの <p>①市民病院：構造的にもロータリーになっている。 ②濃飛バス神岡営業所：運転手やバスの待避所 ③神岡振興事務所：場所や行政機能</p> <p>バスを利用者の視点に立ったときにどういう風に利用されているか。 郡上八幡の城下町プラザのようなイメージ</p>	検討中
河合・宮川乗合タクシーは、古川まで行けないのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの利用。相乗りすれば安くなる。自由にしようとする高くなり、安くしたければ自分が不自由にならなければならない。 ・定額のタクシーをすることによって財政的にもエリアを制限しなければならない。 ・自治会を通して月1回古川へ買物へ行くことは可能か。 →他市の自治会でジャンボタクシーで行っている事例がある。 利用者、自治会も負担し、それでも足りない部分を市が補助している。地域でやりたければ、市と交渉を。 	・現状の登録、計画上、困難。